

横浜市庁舎アトリウムにて ペロブスカイト太陽電池の実証実験を開始します



2030年の温室効果ガス排出50%削減、2050年の「Zero Carbon Yokohama」の実現に向けて、ペロブスカイト太陽電池や建材一体型太陽光発電設備などの次世代型太陽電池の導入が期待されています。

太陽光発電の適地が限られる都市部において、更なる再エネ普及拡大を目指すため、公共施設を活用した次世代型太陽電池実証実験の提案を募集し、このたび3事業者、4提案を選定しました。（参考：公募概要 <https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/koho-kocho/press/green/2024/20240618.html>）

第1弾となるペロブスカイト太陽電池の実証実験を令和6年9月30日（月）より、横浜市庁舎アトリウムにて開始します。

実証実験の目的

- ・公共施設を積極的に活用し、発電性能等の検証を行うことで、社会実装に向けた技術開発を後押し
- ・横浜発の新技术であるペロブスカイト太陽電池をはじめとした次世代型太陽電池の普及啓発

公募の選定結果

令和6年7月～8月に公募を実施し、下記4つの提案があり、全ての提案を選定しました。

※提案時の内容であり、実際の実証内容と異なる場合があります。

(1) 横浜市庁舎アトリウム（屋内）

<提案1> 事業者名：東芝エネルギーシステムズ株式会社

使用電池：フィルム型ペロブスカイト太陽電池

<提案2> 事業者名：AGC株式会社

使用電池：既存建築物の窓に後付け可能な建材一体型太陽光発電

(2) 鶴見区役所（屋内）

<提案3> 事業者名：東京電力エナジーパートナー株式会社

使用電池：有機薄膜太陽電池（軽量・フレキシブルなフィルムベース）

(3) 北部第二水再生センター（屋外）

<提案4> 事業者名：東京電力エナジーパートナー株式会社

使用電池：ペロブスカイト太陽電池（壁面設置を模擬した試験体）

実証実験について

9月30日（月）より<提案1>の実証実験を横浜市庁舎アトリウムにて開始します。その他の提案については、事業者と協議のうえ、実施時期、内容の詳細を決定します。

○実証予定期間 令和6年9月30日（月）～11月28日（木）

○事業者名 東芝エネルギーシステムズ株式会社

○場所 横浜市庁舎アトリウム 南側2階管理通路

○使用電池 フィルム型ペロブスカイト太陽電池

横 1225mm × 縦 460mm × 厚さ約 1mm × 4枚

○実証概要 LEDの点灯など発電状況の検証を実施



市庁舎アトリウム設置イメージ

お問合せ先

脱炭素・GREEN×EXPO推進局カーボンニュートラル事業推進課長 松下 功 TEL 045-671-2636



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

